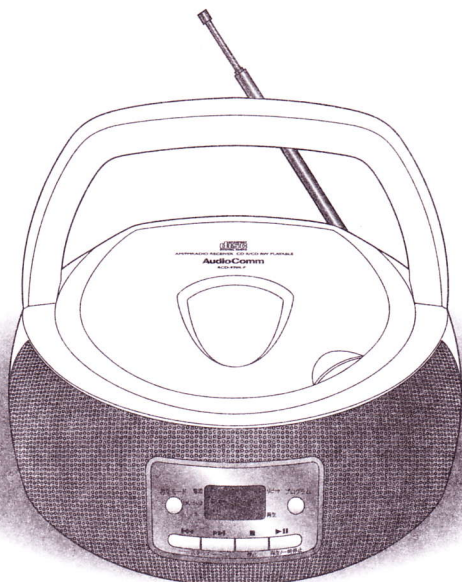


## 取扱説明書 保証書付

### AM/FMラジオCDプレーヤー

型番：RCD-970K-W  
RCD-970K-A  
RCD-970K-P

品番：07-7970  
07-7971  
07-7972



このたびは、  
**AudioComm®** AM/FMラジオCDプレーヤーをお買い上げいただき、  
誠にありがとうございました。

#### 警告

電気製品は安全のため注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。“この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。”なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保存してください。

もくじ	安全上のご注意	1	ヘッドホンで聴く	9
	ご使用になる前に	3	故障かなと思ったら	9
	電源について	4	主な仕様	10
	各部の名称	5	お手入れ方法	10
	ラジオを聴く	6	保証書とアフターサービスについて	10
	CDを聴く	7	保証書	

# 安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

## 絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっていきます。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

## 絵表示の使用例



**危険**

この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。



**警告**

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



**注意**

この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。



△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。(左図の場合は感電注意が描かれています。)



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。(左図の場合は分解禁止が描かれています。)



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。(左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く、が描かれています。)

※この製品の故障、誤動作、不具合などによって発生した次における損害などの附随的損害補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がCD、テープまたは外部接続機器へ記録された内容の損害
- 録音、再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

## 警告



- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。



- 付属の電源コード(ACコード)は本製品専用です。本製品をご使用の際には必ず付属の電源コード(ACコード)をお使いください。また、付属の電源コード(ACコード)は絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。



- 本体を修理、改造しないでください。火災・感電の原因となります。



- 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止し、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



- 万一、内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



- 雷が鳴り始めたら、安全のため電源プラグを抜いてください。







- 浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しないでください。火災や感電の危険があります。



- 万一、機器の内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

## ⚠ 警告

 禁止	●表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。	 禁止	●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。
 禁止	●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず重いものをのせしてしまうことがあります。	 禁止	●この機器を使用できるのは日本国内のみです。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しないでください。火災の原因となります。

## ⚠ 注意

 禁止	●調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湿気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となる場合があります。	 禁止	●指定以外の乾電池は使用しないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わないでください。乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となる場合があります。
 禁止	●ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となる場合があります。	 禁止	●電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニター等)に近づけないでください。電磁波により、お互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。
 禁止	●電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となる場合があります。	 コンセントから抜く	●お手入れの際には安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となる場合があります。
 禁止	●CDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まないでください。レーザー光が目当たると視力障害を起こすことがあります。 	 コンセントから抜く	●移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。コンセントから抜く時は必ず電源プラグ部分を持って抜いてください。
 禁止	●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となる場合があります。	 アンテナに注意	●移動させる場合は、アンテナをたたんでください。伸ばしたまま持ち運ぶと引っ掛かったりして折れたり、けがの原因になる場合があります。
 禁止	●電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となる場合があります。必ずプラグを持って抜いてください。	 指を挟まれないように注意	●お子様はCDドアの中に手を入れないようにご注意ください。けがの原因となる場合があります。
 禁止	●窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となる場合があります。	 音量に注意	●ご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。近隣の迷惑になるとともに、耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
 禁止	●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となる場合があります。	 コンセントから抜く	●旅行などで長時間本機をご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜き、乾電池も取り外してください。火災・液もれの原因となる場合があります。
 乾電池の電極性に注意	●乾電池を挿入する場合、極性表示(プラスとマイナス)の向きに注意し、表示通り正しく入れてください。間違えますと乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となる場合があります。		

# ご使用になる前に

## CDについて

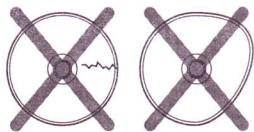
- 本機は通常の音楽CDのほか、CD-R、CD-RWディスクの再生に対応しています。

- ディスクに右のマークが入ったものをご使用ください。



## CD取扱上のご注意

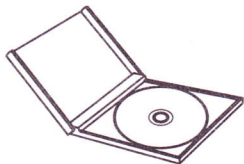
- ひびやそりのあるディスクは絶対に使わないでください。



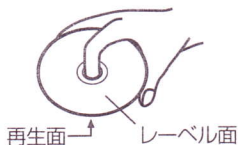
- 再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



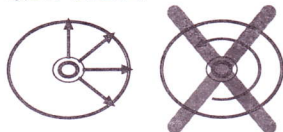
- 長い時間使用しない時は、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。



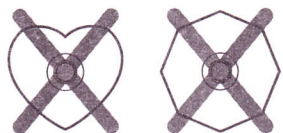
- 再生面を触れないように持ってください。



- 信号面(虹色に光っている面)を傷つけたり、指紋等が付かないように持ってください。指紋や汚れが付いた時は、柔らかい布などで中心から放射状に軽く拭き取ってください。



- ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となります。



## 結露について

寒いところから急に暖かいところへ移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起こります。この状態でご使用になると、正しく動作しないことがあります。このような時はディスクを取り出して、数分間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

### ご注意

- CD-R/RWディスク、レコーダー、書き込みソフトウェアの種類、状態によっては、再生できなかったり、ノイズ、音飛びが生じる場合があります。
- ファイナライズ処理のなされていないディスクは再生できません。
- 本機ではMP3やWMAなど、圧縮されたフォーマットの音楽ディスクの再生はできません。
- DualDisc(デュアルディスク)については、コンパクトディスク(CD)規格に準拠していないため、動作・音質を保証できません。
- 現在発売されている「コピーコントロールCD」と呼ばれる著作権保護技術付音楽ディスクは、コンパクトディスク(CD)規格に準拠しない特殊ディスクであり、本製品における再生にあたりましては、動作や音質の保証は致しかねます。音楽ディスクパッケージの表示をよくお読みください。なお、「コピーコントロールCD」の詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。よろしくお願いいたします。



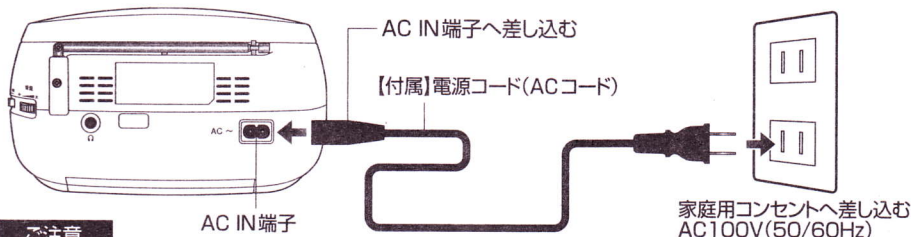
コピーコントロールCD

## 電源について

- ⚠ 電源コードを抜き差ししたり、電池を出し入れする時は、ファンクション切換／電源スイッチを切にして、電源が切れた状態で行ってください。
- ⚠ 電源を切る前には音量(ボリューム)を最小にしてください。次に電源を入れて操作した時、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

### 家庭用コンセントで使うには

付属の電源コードを本機背面にあるAC IN端子へ接続した後、家庭用コンセントへプラグを差し込んでください。

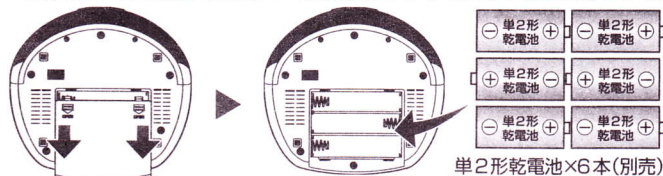


#### ご注意

※付属の電源コード(ACコード)は本製品専用です。本製品を家庭用コンセントでご使用の際には必ず付属の電源コード(ACコード)をお使いください。また、付属の電源コード(ACコード)は絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となることがあります。

### 乾電池(別売)で使うには

1. 本機底面の電池カバーを、押しながらスライドさせて開けてください。
2. 単2形乾電池(別売)を6本、⊕⊖の向きに注意しながら正しく入れます(下図参照)。
3. 電池を入れ終わったら、電池カバーを元通りにパチンと音がするまで閉めてください。



※電池が入っている場合でも、電源コードを接続すると自動的にAC電源に切り換わります。

※本機を使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

※乾電池で使う時は、電源コードが本機背面のAC IN端子から抜かれていることをお確かめください。接続されたままですと乾電池では使用できません。

※乾電池交換の目安として、乾電池が消耗すると、雑音が多くなったりします。このような状態になったら、乾電池を新しいものと交換してください。

#### 乾電池についての安全上のご注意



警告

- 乾電池が液もれした時は液が本機内部に残ることがあるため、弊社修理ご相談センターにご連絡ください。液が目に入った時は、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- ⊕と⊖を正しく入れる。 ●充電しない。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの多湿な場所で使わない。



注意

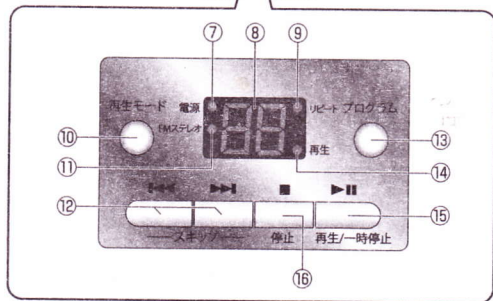
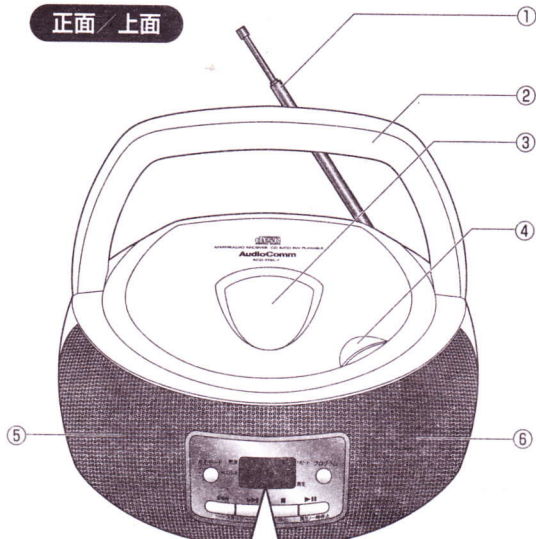
- 使い切った乾電池は取り外す。長時間使用しない時や、長時間AC電源で使用する時も取り外す。
- 新しい乾電池と使用した乾電池、種類の異なる乾電池を混ぜて使わない。

#### 使用済み乾電池を廃棄する時…

使用済み乾電池に関して、自治体の条例などで決まりがある場合は、それに従って廃棄してください。

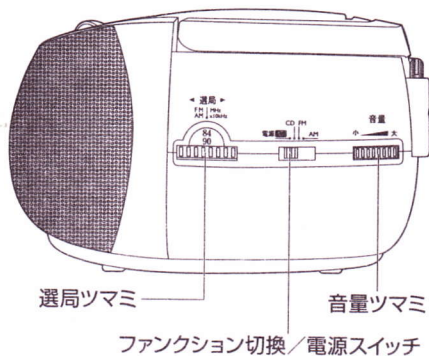
# 各部の名称

## 正面/上面

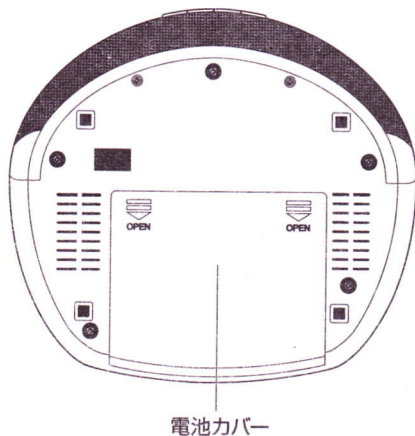


- ① FM アンテナ
- ② ハンドル
- ③ CD ドア
- ④ CD ドア開閉ツマミ
- ⑤ 左スピーカー
- ⑥ 右スピーカー
- ⑦ 電源ランプ
- ⑧ 曲番号表示
- ⑨ リpeatランプ
- ⑩ 再生モードボタン
- ⑪ FM ステレオランプ
- ⑫ スキップボタン(⏮/⏭)
- ⑬ プログラムボタン
- ⑭ 再生ランプ
- ⑮ 再生/一時停止ボタン
- ⑯ 停止ボタン

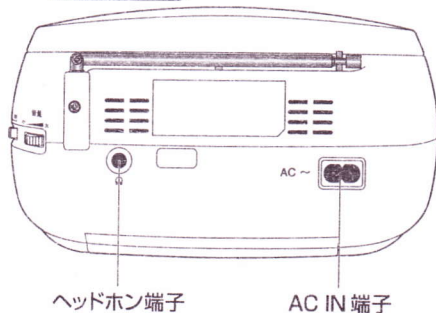
## 右側面



## 底面

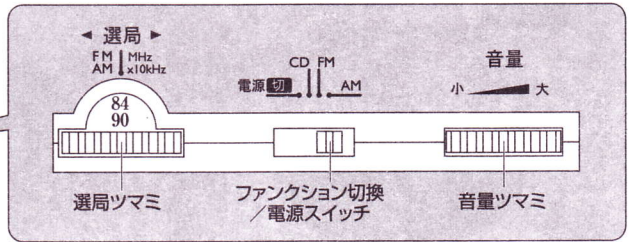
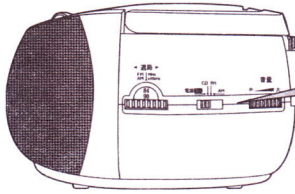


## 背面



# ラジオを聴く

## 右側面



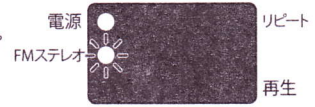
1. ファンクション切換/電源スイッチをAMまたはFMに合わせます(電源ランプが点灯します)。

### 【ご注意】

電源を入れる時は、あらかじめ音量ツマミを左に回して、音量を小さくしてください。大きい設定のまま電源を入れると、突然大きな音が出て、近隣への迷惑になったり、聴力に悪い影響を及ぼす恐れがあります。

2. 選局ツマミでお好みの放送局を選び、音量ツマミで音量を調節します。
3. ラジオを切る時は、ファンクション切換/電源スイッチを電源切に合わせます(電源ランプが消灯します)。

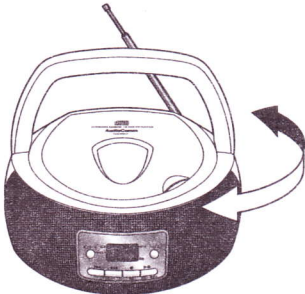
※感度の良い状態でFMステレオ放送を受信すると、FMステレオランプが点灯します。



## 受信状態をよくするには

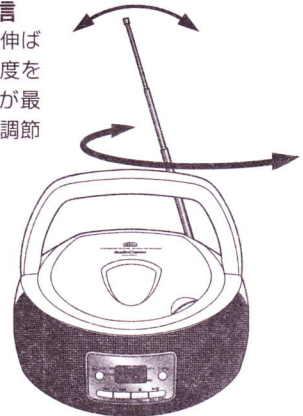
### ●AM放送の受信

本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際のほうが良く受信できます。



### ●FM放送の受信

ロッドアンテナを伸ばし、長さ、方向、角度を変えて受信状態が最も良くなるように調節します。



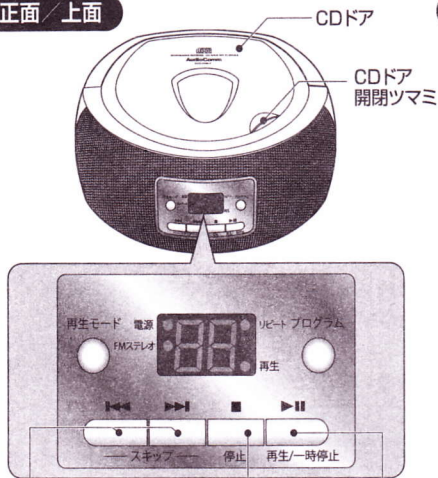
※テレビや蛍光灯の近くでAMを受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このような時は本機を離してご使用ください。

### ご注意

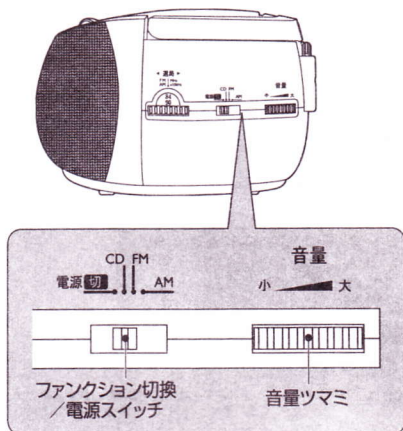
- ・持ち運び時は、目をついたり危険ですので、FMロッドアンテナを縮めた状態で持ち運んでください。
- ・近隣への迷惑にならないよう、音量には十分注意してください。

# CDを聴く

正面 / 上面



右側面



スキップボタン (◀◀ / ▶▶)      停止ボタン      再生/一時停止ボタン

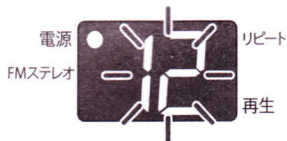
1. ファンクション切換/電源スイッチをCDに合わせて (電源ランプが点灯します)。ディスプレイ上に「-」がしばらく点滅し、ディスクが入っていない場合は「no」と表示されます。
2. CDドア開閉ツマミに指先をかけ、CDドアをゆっくりと上に開けます。
3. レーベル面 (印刷されている面) を上にしてディスクをしっかりと装着し、CDドアを閉めます。CDドアを閉めると自動的にディスクが回転し、収録されている曲数がディスプレイに表示されます。
4. (再生したい曲を選ぶ場合) ディスプレイの表示を確認しながらスキップボタン (◀◀ / ▶▶) を押して、曲の番号を選びます。
5. 再生/一時停止ボタンを押すと、再生が始まります。再生中は再生ランプが点灯します。
6. 音量ツマミで音量を調節します。
7. 再生を一時停止する時は、再生/一時停止ボタンを押します (一時停止中は、再生ランプが点滅し、曲番号表示が点滅します)。もう一度押すと再開します。
8. 再生を停止する時は停止ボタンを押します。電源を切る時は、ファンクション切換/電源スイッチを電源切に合わせて (電源ランプが消灯します)。



CDドアを閉じると全曲数が表示されます。



再生中は再生ランプが点灯します。



一時停止中は曲番号表示が点滅します。

## ご注意

- CDドアの開閉はゆっくりと行ってください。力を入れすぎると故障の原因になります。
- CDドアを開ける際はハンドルを倒してから行ってください。立てたままではCDドアの完全な開閉はできません。



## スキップ再生／サーチ再生



### ●スキップ再生

- 再生中にスキップボタン(▶▶)を押すごとに、次の曲に進んで曲の最初から再生します。
- 再生中にスキップボタン(◀◀)を押すとその曲の最初に戻って再生します。2回続けて押すと前の曲の最初から再生します(押すごとに前の曲に戻って再生します)。

### ●サーチ再生

- 再生中にスキップボタン(▶▶)を押し続けると早送りになります。
- 再生中にスキップボタン(◀◀)を押し続けると早戻しになります。
- ※小さな再生音が聴こえるので、その音を参考にしながら希望のところで指を離すと、そこから再生します。

## プログラム再生 最大20曲まで登録できます。

(CD停止中に操作してください)

プログラム



1. プログラムボタンを押すと「01」と再生ランプが点滅します。
2. スキップボタン(◀◀/▶▶)で曲番号を選び、再度プログラムボタンを押して確定します(ディスプレイに「02」と表示され、2番目に登録したい曲を選択できるようになります)。
3. ステップ2の操作を繰り返して、お好みのプログラムを登録します(最大20曲まで登録可能)。
4. 再生／一時停止ボタンを押すと、登録した順番で再生が始まります(プログラム再生時は再生ランプが点滅します)。
5. 再生を止める時は、停止ボタンを押します。



※上のステップ5で停止ボタンを押しても、プログラム内容は保持されています(再生ランプが点滅)。この状態で再生／一時停止ボタンを押すと、プログラムの最初から再生します。プログラムを消去するには、次のいずれかの操作をします。

- 停止ボタンをもう一度押す
- ファンクション切換／電源スイッチをAM、FM、または電源切にする

※プログラム再生とリピート再生を併用すると、プログラムした曲順で繰り返し再生することができます。プログラム再生中に再生モードボタンを1回押すとその曲を繰り返し再生し(リピートランプが点滅)、もう一度押すと、プログラムした全曲をリピート再生します(リピートランプが点灯)。リピートを解除するには、リピートランプが消えるまで、再生モードボタンを1回または2回押します。

※プログラムを確認するにはプログラムボタンを押します。曲番号が順に表示されます。

※プログラムを変更するには、プログラムボタン確認後の曲順表示状態(「01」と再生ランプが点滅)で、プログラムボタンを数回押して変更したい曲順を表示させ、スキップボタン(◀◀/▶▶)で曲番号を選んでプログラムボタンを押します。

## リピート(繰り返し)再生

再生モード

### ●1曲リピート再生

- 再生中に再生モードボタンを1回押すと、聴いている曲を繰り返し再生します(リピートランプ点滅)。
- 再生前に再生モードボタンを押した場合はスキップボタン(◀◀/▶▶)で曲を選んでから再生／一時停止ボタンを押します。



### ●全曲リピート再生

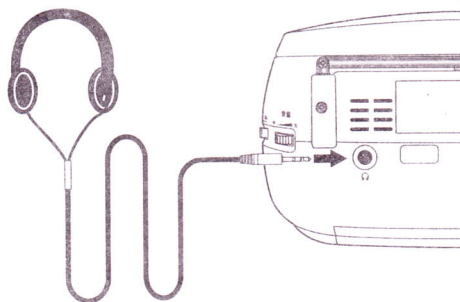
- 再生中、または再生前に再生モードボタンを2回押すと、全曲リピートモードになり、CD内の全曲が繰り返し再生されます(リピートランプ点灯)。



※リピート再生を解除するには、リピートランプが消えるまで、再生モードボタンを1回または2回押します。

## ヘッドホンで聴く

別売のヘッドホン(φ3.5mmステレオミニプラグ)を、本機背面にあるヘッドホン端子につなぎます。ヘッドホンをつなぐとスピーカーからの音は聴こえなくなります。



### ご注意

ヘッドホンをご使用の際は、本機の音量を下げた状態でヘッドホン端子に接続してください。また、使用時の音量の上げすぎにもご注意ください。聴力に悪い影響を及ぼす恐れがあります。

## 故障かなと思ったら

症状	チェック項目
<b>●全般</b>	
・電源が入らない	<input type="checkbox"/> 電源プラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか。 <input type="checkbox"/> 乾電池が消耗していませんか。乾電池の向きは正しいですか(乾電池利用時)。
・音が出ない	<input type="checkbox"/> 音量が最小になっていませんか。 <input type="checkbox"/> ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれていませんか。
<b>●CD部</b>	
・CDの再生が始まらない	<input type="checkbox"/> CDが裏返しに入っていませんか。 <input type="checkbox"/> CDがひどく汚れていませんか。 <input type="checkbox"/> 規格外のディスクが入っていませんか。 <input type="checkbox"/> レンズが汚れていませんか。 <input type="checkbox"/> CDドアはしっかりと閉まっていますか。 <input type="checkbox"/> ファンクション切換/電源スイッチはCDが選ばれていますか。
・CDの音が出ない	<input type="checkbox"/> 一時停止状態になっていませんか。 <input type="checkbox"/> ヘッドホン端子にφ3.5mmステレオミニプラグが接続されていませんか。
・CDの音がとぶ	<input type="checkbox"/> 結露状態になっていませんか。 <input type="checkbox"/> レンズがひどく汚れていませんか。 <input type="checkbox"/> 強い振動を与えていませんか。 <input type="checkbox"/> CDに大きな傷やひどい汚れがありませんか。
<b>●ラジオ部</b>	
・ラジオに雑音が入る	<input type="checkbox"/> 近くで携帯電話を使用していませんか。 <input type="checkbox"/> テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信していませんか。
<b>●その他</b>	
・ラジオは聴けるがCDが動かない	<input type="checkbox"/> 乾電池の消耗がかなり進んでいます。新しい乾電池と交換してみてください(乾電池使用時)。

# 主な仕様

- 電 源 : AC100V(50 / 60Hz) DC9V(単2形乾電池×6本/別売)  
消費電力 : 8W  
最大出力 : 0.6W+0.6W  
受信周波数 : FM 76 ~ 90MHz AM 530 ~ 1605kHz  
アンテナ : FM ロッドアンテナ AM フェライトバーアンテナ(内蔵)  
外形寸法 : 幅228×高さ116×奥行204mm (ハンドルをたたんだ状態)  
質 量 : 約1.2kg(乾電池含まず)  
付 属 品 : ACコード、取扱説明書(保証書)  
乾電池使用時の連続動作可能時間の目安(アルカリ乾電池新品使用、音量中程度にて)  
CD : 約7.5時間 ラジオ : 約33時間
- ※仕様および外観は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

## お手入れ方法

### ●本体のクリーニング

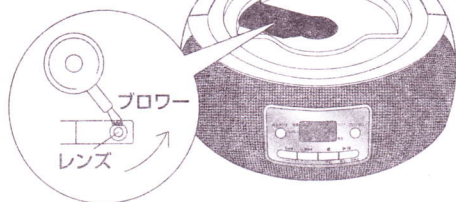
本体の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい時は、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。  
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。



シンナー、ベンジン、  
アルコールなどは  
使用しない

### ●CDプレーヤー・レンズ部のクリーニング

レンズの汚れは音とびなど、再生ができなくなる原因となります。CDドアを開け、レンズについたほこりやゴミを市販のプロワーでクリーニングしてください。



## 保証書とアフターサービスについて

### 保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

### アフターサービスについて

#### ●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

#### ●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

#### ●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

# 保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間中でも次の場合には有料修理となります。
  - (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
  - (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
  - (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
  - (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
  - (ホ)本書のご提示がない場合
  - (ヘ)本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
  - (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
  - (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	AM/FMラジオCDプレーヤー			★お買上日：	年	月	日
型番	RCD-970K-W RCD-970K-A RCD-970K-P	品番	07-7970 07-7971 07-7972	保証期間：本体1年間(お買上げの日から)			

お客様	★お名前	様					
	★ご住所 〒	—					
	電話	( )					

修理メモ
------

販売店	★住所 店名 電話	(印)
-----	-----------	-----

(注)★印欄に記入の無い場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用していただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機  
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8  
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ  
●フリーダイヤル(無料) ●携帯電話・公衆電話からは  
0120-963-006 048-992-2735  
電話受付 平日9:00~17:30 土曜9:00~17:00  
日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ  
電話受付 048-992-3970 平日9:00~17:00  
土・日・祝日及び年末年始は除きます